

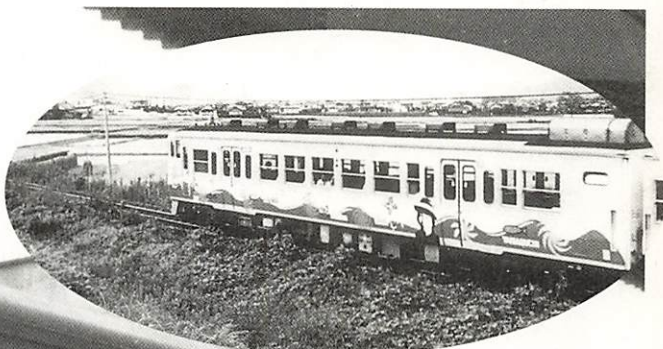
主な内容

- 第4回市議会定例会
- 国勢調査
- 山口市の戦後50年⑧

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

●市民憲章 昭和46年9月1日制定

- 1 自然を大切に、美しい環境を守りましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
- 1 きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
- 1 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。



10/1
1995年 No.1157

中也が走る！

深まる秋の中を駆けぬける中原中也と山頭火。デザインミーティング'95の催し物のひとつとして、ディーゼル車にカラーリングがほどこされ、9月16日から10月16日までの間、JR山口線の小郡駅と山口駅の間を往復しています。全体は、樺野川の自然をイメージしたもの。田園や街中を走る中也は、秋に色づくふるさとをなつかしい思いで見つめていることでしょう。

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。



市の木イチョウ



市の花キク



市の花木キンモクセイ

平成7年第4回 市議会定例会 20議案を可決 一般会計4億3,240余万円追加補正



に千二百四十余万円。

〔消防費〕

指定寄附があり、非常備消防費に三十万円。また、耐震性防火貯水槽新設事業に七千九百四十余万円。

〔教育費〕

嘉川小学校屋内運動場増改築事業に二億七千九百四十余万円。

〔災害復旧費〕

林道災害復旧費等に千六百万円、山口市民南部運動広場斜面崩落復旧事業に九百五十余万円、その他公共施設、公用施設災害復旧費として、二島最終処分場跡地擁壁復旧事業に千八百万円。

歳入

第四回市議会定例会は、十七日間の日程を終え、九月二十日、閉会しました。可決、同意された議案は、耐震性防火貯水槽新設事業に関する補正など予算五件、政治倫理の確立のための山口市長の資産等の公開に関する条例の制定など条例八件、事件議決五件、議員提出議案二件の合わせて二十件です。

●予算

一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ四億三千二百四十余万円を追加し、総額をそれぞれ三百九十八億千八百余万円としました。

おもな追加計上は次のとおりです。

歳出

〔総務費〕

国・県支出金の精算に伴う返還金に千九百四十余万円。
〔民生費〕
訪問入浴サービス事業に五百四十万円。
〔労働費〕
シルバー人材センター運営費に二十余万円。
〔農林水産業費〕
地区農業管理センター機能強化モデル事業に七十余万円、野菜供給産地拡大対策事業等

土地取得事業

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ四千百万円を追加し、総額をそれぞれ二十四億四千八百九十余万円としました。これは、J R山口駅東側の国鉄清算事業団用地を先行取得しようとするものです。

駐車場事業

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ四十余万円を追加し、総額をそれぞれ三千六百三十余万円としました。これは、駐車場事業基金への積立金等を追加計上するものです。

特別林野

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百三十余万円を追加し、総額をそれぞれ三千六百六十余万円としました。これは繰越金を財政調整基金に積み立てるものです。

●条例

・政治倫理の確立のための山口市長の資産等の公開に関する条例
・議会の議員その他非常勤の職員等の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
・山口市吏員恩給条例等の一部を改正する条例等の一部を

改正する条例

・山口市特別用途地区建築規制条例の一部を改正する条例
・山口市計画「陶亀谷地区」再開発地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
・山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

●事件議決

・民事調停の申立てを行うことに関する専決処分について
・市道路線の廃止について
・市道路線の認定について
・平成六年度山口市自動車運送事業会計決算の認定について
・平成六年度山口市水道事業会計決算の認定について

●報告

・損害賠償の額を定めることに関する専決処分について

●議員提出議案

中国の核実験に抗議し、フランスの核実験再開に反対する決議の提出について
・治水事業予算の拡充に関する意見書の提出について



の
こよみ

6日 市民大学講座⑤ねじめ正一（市民会館）
7日 秋季県体高校野球県決勝大会（西京スタジアム／9日）
8日 ふるさと自然環境教室（市内）
10日 ふれあい健康まつり・くすりと健康県民のつどい（県教育会館ほか）
市民スポーツデー（市内各体育施設）▽体力づくり30歳ソフトボール大会（山口市南総合センター）▽地区対抗男子バレーボール大会（県スポーツ文化センター）
12日・15日・16日・19日・21日・22日 山口世界音楽祭（C・S赤れんがほか）
14日 生涯学習推進大会まなぼうやまぐち'95（市民会館ほか）
15日 健康体力づくり西東鳳凰山縦走ハイキング
17日 シルバー人材センター入会説明会（市ボランティアセンター）
22日 都市緑化祭（維新百年記念公園野外音楽堂）
23日 文藝春秋講演会（市民会館）
26日 1歳6か月児健康診査（保健センター／27日）

国勢調査

生かしてひろこう

新世紀

10月1日現在で国勢調査が行われています。この調査は、わたしたちのこれからの暮らしづくりにつながる、大切な資料となるものです。皆さんのご協力をお願いします。

★調査票は届きましたか

九月下旬から、調査員が、世帯ごとに調査票の記入をお願いにお伺いしています。

国勢調査では、住民票などの届出に関係なく、十月一日現在、わが国に住んでいる人を、ふだん住んでいるところで調査することとなっています。調査票がまだ届いていない方は、至急、市広報広聴課統計担当までご連絡ください。

★調査票の記入はお済みになりましたか

調査票の記入にあたっては、一緒にお渡ししました「調査票の記入の仕方」をご覧のうえ、もれないようにご記入



ください。

記入していただいた内容を他にもらすことは、法律により禁じられていますので、安心してご記入ください。

★調査票の記入は黒の鉛筆で、折らないで汚さないで

調査票を読みとる機械は、黒の鉛筆で記入されたマークだけを読みとります。そこで、調査票の記入は、必ず黒の鉛筆で、太く、はっきりと書いてください。

提出された調査票は、そのまま機械にかけますので、折りまげたり、汚したり、あるいは丸めたりしないようにお願いします。

★調査票は10月8日までにあなたから調査員へ

十月八日までに、調査員が調査票を受け取りに伺います。長期間留守にされる場合は、あらかじめ調査員にお知らせ

ください。

★専用電話は10月8日まで

国勢調査に関する問い合わせの専用電話を設置中です。受付時間は、午前9時から午後五時まで（土・日を含む）です。

調査についてのお尋ねなどがありましたら、ご利用ください。

専用電話

☎ 28-5243

開設期間 10月8日まで
（土日を含む）

フリーダイヤルとの
なっております。利用され
で、料金の負担はあり
ません。



今回の「市報やまぐち」の配布に合わせてコード表をお届けします。市報ファイルに
とじたり、電話帳と一緒に保管してご利用ください。

10月1日

音声・FAX情報サービス

「電話ガイド

やまぐち お茶の間市役所」

がはじまります。

この音声・FAX情報サービスは、いつでも、どこでも、どなたにでもご利用いただけるシステムとして実施したもので、サービス内容は、各家庭や職場の電話・FAXを利用して、市役所への届出や各種手続きの方法、公共施設の利用案内、催しなど、皆さんの暮らしに役立つ身近な情報を24時間、年中無休で提供するものです。情報案内コード表や案内ガイダンスにより、

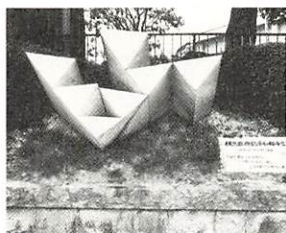
視覚障害者や聴覚障害者の方々にもご利用いただけるシステムとなっています。

この情報サービスは、「電話ガイド やまぐちお茶の間市役所」の名前が示しているように、お茶の間にいながらにして、市の行政の各種情報を得ることが出来るものです。皆様が大いに利用されることを願っています。

山口市の戦後50年⁸

平和を求めて

山口のヒロシマデー 中国残留婦人交流の会



核兵器廃絶
平和都市宣言碑

この宣言は、昭和六十年六月に山口市議会で決議され、六十三年九月には市役所前庭に記念碑も完成しました。市民の平和グループ「山口折鶴の会」は毎年八月九日、平和祈念式を開催、また記念碑に折鶴を捧げています。

山口県に被爆者健康手帳の保持者は六千五百四人(六年度末現在)。人口比では広島・長崎に次ぐもので「第三の被爆県」ともいわれています。

戦後五十年は、また被爆五十年でもあります。「山口市被爆者の会」会長の原田登さん(78・黒川)の被爆体験と、九月六日の「山口のヒロシマデー」をとおして核の問題を考えてみます。

被爆直後、爆風で倒れた兵舎の下敷きになり、仲間にも助けられずに裏山に避難、「山へ行く途中、ここに人が倒れていて『水をくれ、助けてくれ』とうめいていました。その後、グラマン(飛行機)がやってきて機銃掃射したことも覚えてます」。

「山口市被爆者の会」会長の原田さんは、広島駅の裏手にあつた第二総軍指令部の衛兵要員として警備にあたっていたとき被爆され、顔の左半分と右手を火傷されました。「B29が四機飛来、その内の一機からドラム缶大の物が落とされるのを見ました」。



原田登さん

命ある限り

被爆体験を語り継ぐ

核兵器廃絶平和都市宣言

戦争の惨禍を防止し、真の恒久平和を実現することは人類共通の願いである。

しかるに近年世界において、軍備の拡充は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類の等しく憂うところである。

わが国は、世界唯一の核被爆国として、また平和憲法の精神からも再びあの広島、長崎の被爆者の苦しみを絶対繰り返させてはならない。

山口市議会は、日本国憲法にあげられた恒久平和主義の理念の下に、恵まれた歴史の伝統に支えられてみどり豊かなのびゆく人間都市山口の街づくりを進めており、これは平和なくして実現はありえない。

よって山口市議会は、真の恒久平和を求めるため、非核三原則の完全実施を願うとともに、核兵器の廃絶を訴え、ここに核兵器廃絶平和都市宣言をするものである。

以上、決議する。

「山口市被爆者の会」の会員は約五十人。山口市の被爆者健康手帳の保持者は五百二十五人(六年度末現在)で約一割、「もっと多くの人に入会してほしい。相互扶助が会の基本精神です。会員のうち被爆二世は五人。若い人に受け継いでほしいことはたくさんあります」。

原爆は一瞬にして広島を死の街にしました。あの恐ろしさは私達だけで充分。生きている間は声を大にして、原爆の悲惨さと平和の大切さを訴え続けます」。

十年前から市内の小・中学生や修学旅行生に被爆体験を話す「語りべ」。先月行われた西京高校の文化祭にも招かれました。

山口のヒロシマデー

一九七三年夏、ある人の証言から宮野地区の墓地の一角に被爆兵士の遺体が埋められていることがわかり、被爆者



山口のヒロシマデー
原爆死没者追悼・平和式典

「ゆだ苑」職員、山大ユネスコクラブなどの手で発掘が始められました。

十三体以上を収骨。この遺骨は同地区にあった旧山口陸軍病院に被爆後収容されていた軍人が次々と亡くなられたために遺体を焼き、そのまま放置されていたものでした。

翌年、県民の寄付などで「原爆死没者の碑」を建立、「あの日の苦しみやさるることなく無名兵士らここに眠る」の碑文が刻まれ、現在、八十体以上の分骨(朝鮮半島出身の被爆死没者二体の遺骨を含む)と一千五百五十四名の死没者名簿が収められています。

「山口のヒロシマデー」は、発掘が行われた九月六日。毎年この日に「原爆死没者追悼平和式典」が行われています。被爆五十年にあたる今年、二十一回目を迎えた式典で主催者「ゆだ苑」安部一成理事長は「私たちは原爆死没者の御霊に心から哀悼の誠をささげ、

核兵器廃絶と平和な世界をつくり出す真摯な運動を続けていくことを誓います」と平和宣言をされました。

核兵器廃絶と平和を求めて

山口県原爆被害者団体協議会と共に式典を主催する山口県原爆被爆者福祉会館「ゆだ苑」事務局長の上野さえ子さんは「式典には一般市民の方も参加され、個人やグループで折鶴を奉納してくださいませ。山口のヒロシマデーは、原水禁運動分裂後も被爆者援護に関しては共同歩調をとるといふ『山口方式』のシンボルでもあります」と話されます。

また、上野さん自身は被爆者でなく、「ゆだ苑」に勤務し、被爆者の話を聞き続けることで自分も変わっていかれたそうです。

「被爆後、徳地町に帰ってこれた、結婚もされず、家にもつたきりだったある方が、山の本々を見つめて『山は成長するが、自分はこままじや』と言われたときは心を打たれました。この人の悲しみを何とかしてあげられないかと。被爆者援護や核兵器の廃絶には市民レベルでの意識の高まりが必要です。そのためにも山口のヒロシマデーをもっと広めていきたい」。

○竹林定夫さん(57) 宮野
中国残留孤児。平成三年、妻・四女と共に永住帰国。六年から山口市へ。中華料理の調理師として市内の飲食店に勤務。現在は、長男・次女・三女の家族が山口市に居住。

対談 中国残留邦人 としての 戦後50年



左から藤本さんと竹林さんご夫婦

○藤本澄江さん(67) 宮野
中国残留婦人。平成5年、夫・次男夫婦・孫と共に永住帰国。同年十一月から山口市へ。次男は福岡市で就職、現在、夫と二人で生活している。

藤本 私は昭和十六年、十三歳の時に両親・兄弟五人で開拓団の一員として満州に渡りました。陸軍病院の看護婦をしていたときに終戦を迎えたとです。

竹林 私の家族も開拓団です。終戦は七歳のときでした。藤本 終戦後、お医者さんともう一人の看護婦との三人が八路軍(共産党軍)から残るようになられて、ほかの家族は引き揚げました。

竹林 私たちは難民収容所に入りました。そこで私は中国人にもなわれ、父と四人の兄は帰国しました。弟と妹は混乱でばらばらになり、いまだに消息がわかりません。

藤本 戦後、昭和二十六年に母から消息を尋ねる手紙が届きました。その後は文通もして、主人と結婚するときも手紙で母の了解を得ましたよ。

竹林 それは良かったですね。私は、戦後は育ての親と山東省にいましたが、当時は山ばかりで畑も少なく貧しい省でしたから、小学校も一年行っただけで親と一緒に働きました。十六歳のころチハルに戻って仕事を始めてお金も入るようになりました。

中国人には、小さい頃から仲良くしてもらいましたよ。終戦後、中国人も食糧不足だったのに食べ物をもらったりしました。

藤本 おとなしい良く働く子だったんでしょうね。私も医者者の阿部先生が技術も優れた人で中国人も尊敬していましたから、一緒に働く私たちにも親切でしたよ。ただ、中国



人にもなれた人の中には、自由がなく寂しい思いをしていた人たちもいました。日本人同志が接触するのを嫌う中国人もいましたから。

竹林 そうですね。日本人はまじめに働く人が多いし、日本の軍国主義がよく宣伝されていましたが、人間同志のつきあいでは中国人は友好な国民だと思っています。

藤本 それから、一時帰国を四回しましたが、戦前と比べてすごい発展でしょう。日本人として誇りに感じましたね。

竹林 私もチハルにいて、日本のことはよく聞いていました。日中国交回復(昭和四十七年)で日本に帰りたいと思いました。親の消息は平和友好条約(五十三年)までわかりませんでした。

藤本 国交回復は中国の日本

人にとっては本當にうれしかったですよ。

ところで、まだ日本語がよく話せませんか。

竹林 日本に帰って一番困っているのが言葉の問題です。いろいろ手続きも多くて、複雑すぎます。言葉がわかればもっと楽なんだろうがね。

藤本 主人も日本語がだめなんです。テレビを見たり勉強はしているんですが。孫は早いですよ。子供の方が覚えがいいですね。ただ、カタカナ語が多いのは私も困っています。

生活面では中国残留婦人交流の会の方が、会長さんはじめ皆さんごく面倒をみてくださいます。本當に助かっています。

しかし、終戦からもう五十年ですね。



竹林 戦争は勝つても負けてもみじめで悲惨なもの。異国にいて、二度とゴメンだという気持ちでいっぱいだった。歴史を伝えてほしいですね。

藤本 本當にそう思います。

中国残留婦人交流の会



小郡駅での出迎え(右から2人目が山田会長)

今年も中国残留婦人の一行が一時帰国しました。九月七日から十六日まで市内・県内での交流。十八日からは、ふるさとへ帰る人、県外で交流する人にと別れ、三十日再び山口市に。十月一日の中国残留婦人慰霊の日の集いに参加して、四日帰途につきます。

会結成以来、七年間で三十六人の残留婦人を招いてきた「中国残留婦人交流の会」の山田忠子会長にお話をおうかがいしました。

昭和六十三年、山口放送の磯野恭子さん制作のテレビ番組「遥かなる祖国への旅」で紹介された中国残留婦人。会長の山田さんや前会長の山根百世さんら九人は実態を知りたいと、同年、中国黒竜江省の旧日本人開拓団跡を訪ねました。「死んだら、灰を松花江に流してもらい、日本海を経て日本にたどり着きたい」婦

人たちの切々たる思いにふれ、同年十二月に九人は「中国残留婦人交流の会」を発足させました。

「会の結成は八年前、私たちの活動はあまりにも遅すぎました。申し訳ないという気持ちでいっぱいです。戦後五十年といいますが、私たちにとしては始まったばかり、これからです」。

会は一時期帰国援護事業をはじめ、実態調査、帰国援護などを国へ積極的に陳情、十三歳を境に分かれていた残留孤児とやっと同じように扱われるようになりました。

「病氣や高齢のため帰れない人への慰労金の支給など、まだやることはたくさんあります」。

現在会員は約八百人。その内山口市の会員は百六人。「皆さん自分に来ることがあればという方ばかりですから、交流の会の名前の通り、助けるとか、励ますとかではなくて、仲良くしましょう、共に手を取り合って生きていきたいと思いますということなんです」。

平成四年には瑠璃光寺内に中国残留婦人慰霊の碑を建立、十月一日を慰霊の日として毎年法要を行っています。

「ひとつの物を半分に、その心があれば何でも出来ますよ」。

写真に見る 山口市の 戦中戦後② —戦後—



教室の真ん中には石炭を燃やすダルマストーブ。弁当もあたためたりした

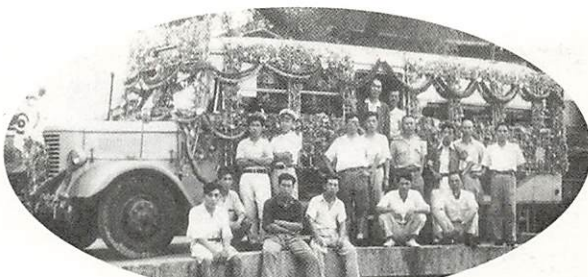
ラムネの早飲み競走



昭和21年4月10日、民主日本初の総選挙が行われ、婦人も参政権を行使した。写真は県庁前のバス停で翌日、投票結果を見る市民—写真提供 藤村恒彦さん（湯田温泉）—



昭和30年陸上自衛隊管理隊の山口駐屯地への移駐がはじまった。市役所前を行進する自衛隊員。開隊式は翌年2月に挙行された



昭和21年復活した祇園祭。23年の祭には市も花バスを仕立てた（お茶屋橋のうえで）



昭和50年代初めまで8月に入ると商店街には短冊がさがり、6・7日のちょうちんにつけかえられた



昭和30年、一の坂川の清掃。後ろは川端市場で、38年、中河原アパートが完成し、一階に入居した



映画は娯楽の王様だった。「君の名は」の封切りは昭和28年。写真は30年代の映画館



昭和30年半ばの米屋町商店街



湯田温泉。川のたびたびの氾らんでは今は暗きよとなった



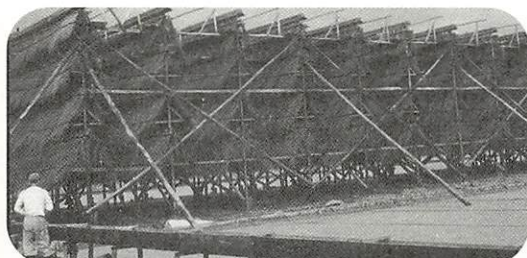
山口駅旧駅舎。昭和53年、現在の駅舎に建て替わった



昭和36年の山口市街地。38年、国道9号（現県道204号）が市街地を貫通し、大きく様変わりした。中央右に旧市役所
—写真提供 産経新聞社—



昭和26年に整備された美濃カ浜海水浴場。市営バスの臨時運行もあった



二島の流下式塩田。昭和26年から36年まで製塩された



昭和30年代、山口名産たくわんの生産が盛んだった佐山地区

西洋音楽発祥の地

山口世界音楽祭

ドイツ

10月12日～22日

今年で三回目を迎える「山口世界音楽祭」。十月十二日から二十二日の間、C・S赤れんがなど四会場で開催されます。

山口世界音楽祭は、サビエルが大内義隆へ贈った物の中の楽器が、西洋楽器の日本への最初の伝来といわれていることや、山口の教会大道寺で最初の歌ミサがあげられたことから、山口市が西洋音楽発祥の地として、平成五年から始めたものです。

今回のテーマは、スペイン・日本に続き、「ドイツ」。

山口は西洋音楽発祥の地です

サビエル 二度の来山

フランシスコ・サビエルが来山したのは大内義隆の時代です。一五五一年の二度目の謁見で、義隆から許可を得て、日本最初の教会となった大道寺を中心に布教活動を始めました。

初めての西洋楽器

二度目の謁見の時、サビエルは義隆に大時計など十三種類の贈物を献上。その中に楽器がありました。

その楽器については、大内義隆記によると、「十三琴ノ緒（糸）ヲヒカザルニ五調子ヤ十二調子ヲ吟ズル」とあり、オルガン説、オルゴール説、音

楽時計説、手風琴説などありますが、いずれにしても、山口は、日本で初めて西洋楽器が伝来したまちです。

最初の歌ミサ

サビエルが去った後、一五

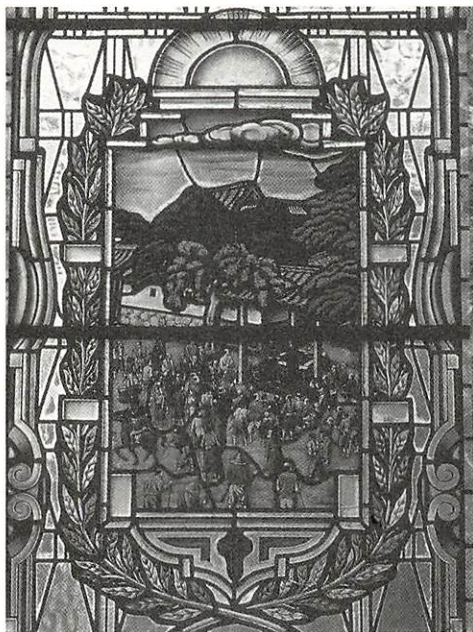
五二年の降誕祭に、山口の教会大道寺で、布教長トルレス、ガーゴラによって日本で最初の歌ミサがあげられました。

この歌ミサにより西洋音楽が最初に演奏された地も山口といわれています。

この二つの歴史的事実をふまえて、山口市を西洋音楽発祥の地とするものです。

サビエルの山口での宣教については、よく知られていますが、西洋音楽がもたらされたことは、あまり注目されていませんでした。

この史実を市の内外の人にもっとよく知ってもらうこと、また、大内文化を現代に引き継ぎ、音楽による新たな文化の創造をしていくことが山口世界音楽祭の役割です。



プログラム

- ①10月12日（木）18：30～20：30
鯨島有美子ソプラノリサイタル
- ②10月15日（日）18：30～20：30
有田正広、有田千代子、平尾雅子トリオコンサート
- ③10月16日（月）18：30～20：30
佐藤豊彦リュートリサイタル
- ④10月19日（木）18：30～20：30
サイラー・エルンスト、和子ピアノデュオコンサート
- ⑤10月21日（土）18：30～20：30
一の坂川クワルテットコンサート
- ⑥10月22日（日）19：00～21：00
ドイツ・バッハザリステン

○場所 ①山口県教育会館 ②③⑤C・S赤れんが ④山口南総合センター ⑥山口市民会館

○入場料 ①②③⑤前売3,000円、当日3,500円 ④前売3,000円・親子券4,000円、当日3,500円・親子券4,500円 ⑥前売4,000円、当日4,500円 総合入場券（全プログラムの入場券）15,000円

○チケット取扱場所 山口十字堂楽器店、三好屋楽器店、三好屋レコード電器部、OK無線AVセンター、山口市民会館、山口南総合センター、道の駅「あさひ」、パレット、C・S赤れんが、リントヴルム

※問い合わせ C・S赤れんが（28-6666）

製作中のチェンバロ



チェンバロの

お披露目演奏

サビエルが義隆に献上した西洋楽器は、マルコルディオ（鍵盤楽器）ではないかといわれています。マルコルディオは改良され、十六世紀、十八

世紀にはチェンバロとなりました。

今回の音楽祭にあわせて、市では、茨城県の業者に依頼し、チェンバロを製作しています（製作費約五百万円）。出来上がったチェンバロは、十五日のコンサートで披露演奏されます。

ドイツフェスト

今回は、山口日独協会の主催で「ドイツフェスト」も同時に開催。C・S赤れんがが会場となる十五日、十六日、二十一日の三日間、一階の展示ホールで、ドイツ紹介のパネル展示、CDや本、ドイツワイン・ケーキの販売などが行われます。



中原中也記念館 自主企画展

中也の軌跡Ⅱ

—上京・「朝の歌」のころ—

中原中也記念館では、十月十七日から、自主企画展「中也の軌跡Ⅱ—上京・「朝の歌」のころ—」を開催します。

また、企画展にあわせて、新収蔵資料の展示も行います。

■ ■

上京後まもないその時期、中原中也は多くの重要な出会いや別れを経験しながら、詩人としての成長を遂げつつありました。この企画展では、その当時に焦点をあて、中也の青春像を浮き彫りにします。

○期間 十月十七日（火）～十一月十九日（日）

○時間 午前九時～午後五時（入館は午後四時三十分まで）

○休館日 毎週月曜日
○入館料 通常の入館料

別れ 富永太郎と 長谷川泰子

中原中也が上京するきっかけとなった人物富永太郎との交友を中心に紹介。

【展示品】「山羊の歌」初版本、「朝の歌」の原稿、「詩的履歴書」の原稿ほか

展示2

フランス語との出会い
アテネフランセでのフラン

友好10周年記念品「どん帳」の披露 ジュニア画家・写真家済南市訪問団作品展



ス語の学習を紹介。
【展示品】アテネフランセの当時の建物の写真、翻訳詩ノートほか

展示3

スルヤ

中原中也にとつて初めて発表される詩となった「朝の歌」とのかかわりにおいて、音楽

集団スルヤとの交流を紹介。
【展示品】「朝の歌」の楽譜（諸井三郎自筆）ほか

新収蔵資料の展示

○竹田巖氏寄託資料

（一部）

中也自筆のハガキ四通

『山羊の歌』の幻の表紙



手紙六通、「山羊の歌」の幻の表紙

○高森文夫氏寄贈資料

高森文夫宛中原中也自筆署名入り「山羊の歌」初版本

○丸屋博氏寄贈資料

『ランボオ詩集《学校時代の詩》』

○服部金弘氏寄贈資料

『六月の雨』自筆原稿

十一月から十月十日（火）正午まで

○会場 市民会館小ホール

※なお、オープニングセレモニーとして、十月八日（日）午前十一時から、山口

市中友好協会招へいによる済南市の少年少女十人とともにテープカットを行います。

山口市と中国・済南市との友好都市締結十周年を記念して、済南市から寄贈されました「どん帳」を、十月八日から市民会館小ホールで披露します。

また、ジュニア画家・写真家済南市訪問団作品展も同時に開催します。

「どん帳」は、済南市で五か月をかけて織りあげられたもの。山口市の瑠璃光寺五重塔（国宝）と済南市の名泉「趵突泉」がデザインされた美しいものです。

ジュニア画家・写真家の作品展については、七月に済南市などを訪問した中学生・高校生十人が撮影、スケッチした作品三十点余りを展示するものです。

○日時 十月八日（日）午前



済南市を訪れたジュニア画家・写真家訪問団

秋を彩った市民作品

山口市美術展覧会

「第三十八回山口市美術展覧会」を九月二十二日から三十日までC・S赤れんがで開催しました。大賞一点、準大賞一点、赤れんが賞一点、奨励賞十五点を含む計百三十七点を展示。今回も、高い市民文化のうかがえる展覧会となりました。なお、大賞、準大賞、赤れんが賞は、山口勤労者総合福祉センター「サンフレッシュ山口」（湯田温泉五丁目）で十月三日から十五日まで鑑賞できます。

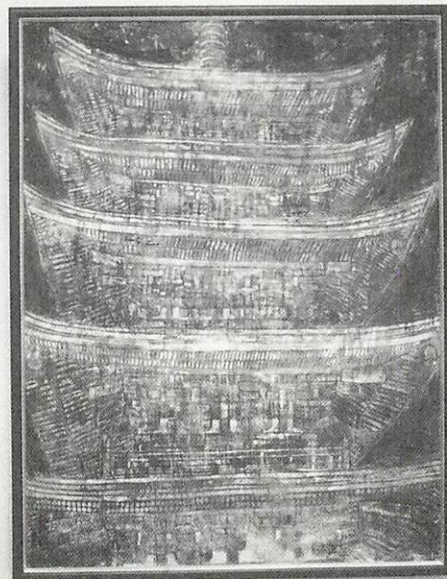


大賞 写真 「朝の道」 渡辺恵幸（石観音）

昭和三十四年に第一回を開催し、今年で第三十八回を迎えた山口市美術展覧会。市民の皆さんから広く作品を募集し、展示することにより、美術の振興と普及をはかり、市民文化の向上に寄与することをめざしています。今回の展覧会も、より高い水準を確保し、長い歴史の中でその目標を着実に実らせているようです。

服部審査員は「年々、習作的な作品は減少して、それぞれの方々の表現内容が深まり、レベルが向上している」と講評されました。

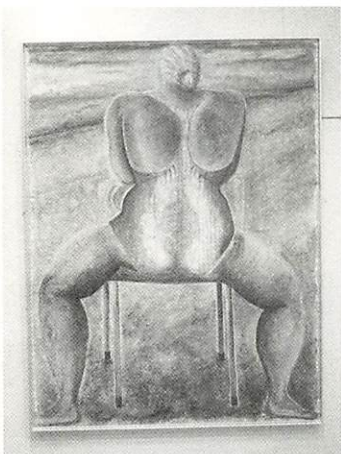
写真「朝の道」で大賞を受けられた渡辺恵幸さんにお話をうかがってみました。
「まさかこんな立派な賞をもらえるとは思っていません」



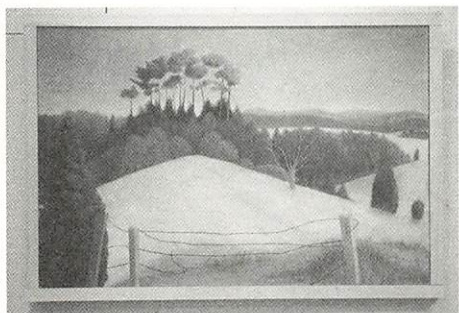
準大賞 日本画 「風立つ」 三井喜美子（道場門前）

準大賞、日本画「風立つ」を描かれた三井喜美子さんは「今まで、日本画が受賞するところが少なかったのとでもうれしく思います。私は、白石公民館で活動している玉蘭会の一期生で、二十数年間、と

にかく一生懸命に描いてきました。『風立つ』は、五重塔を借りて、苦しみに打ち勝つような自分の姿を表しました」と、これまでの創作活動の結果としての受賞を喜ばれました。



赤れんが賞 洋画 「大気」 藤井みさを（楠木町）



赤れんが賞 洋画「秋田 森岳の風景Ⅰ」 千葉喜彦（宮野）

【奨励賞】

日本画 宮本英子（鑄銭司）
▽武田ミヨ子（糸米）／洋画
中柴貴光（吉敷）▽西利久男（宮野上）▽川越隆子（下小鯖）／書 秋本啓子（平井）／工芸 高杉紀美子（古熊）▽水野邦子（富田原）▽古屋邦人（平井）▽松谷靖子（吉敷）▽田中キクエ（吉敷）▽矢野節（中尾）／写真 中村ありさ（下市）▽前川香代子（中尾）／彫刻 中野節男（防府市）

交通死亡事故が多発 みんなで守ろう 交通ルール・交通マナー

八月、九月に県下で交通死亡事故が多発しています。山口市でも今年に入って、

七人（一月二人、三月・四月・七月各一人、九月二人）の方が交通事故で亡くなっています。

特に道路横断中の事故で四人のお年寄りが犠牲となっています。

車を運転する人、歩行者の皆さんは次のことをよく守ってください。

運転者の皆さんへ

・一瞬の油断が重大な結果をまねきます。運転中は前方をよく注視しましょう。

・安全の確認ができないときは、直ちに減速または停止しましょう。

歩行者の皆さんへ

・夜間、車の運転者から歩行者はよく見えません。夜間、道路を歩かれるときは、明るい服装や反射材などを利用しましょう。

・道路を横断するときは、横断歩道など安全な場所を渡りましょう。

交通指導員の声

「一人一人が正しい交通ルールとマナーを身に付けることが大切です」と山口市交通指導員の布谷宏さん。いつも交通事故防止に努めておられる布谷さんに交通安全についてのお話を伺いました。



「信号をよく守ってほしいです。黄色になったら逆にス

交通安全ポスターの入賞者が決まりました

市内の小学校5年生を対象に夏休みの課外学習として、交通安全をテーマにポスターを募集しましたところ、全部で920点の作品が出品されました。

市教育委員会で審査を行った結果、次の4人の作品が金・銀・銅賞に入賞し、佳作として16人の作品が選ばれました。

賞	氏名	学校名
金賞	鈴木 宏昭	白石小学校
銀賞	木京 静香	宮野小学校
銅賞	松野 希美	嘉川小学校
	中川 良子	白石小学校
佳作	西山 洋史	良城小学校
	表田 努	二島小学校
	野村 まい	鑄銭司小学校
	国広 真実	大殿小学校
	藤井 小百合	大殿小学校
	山本 智子	大内小学校
	横部 雄輝	大内小学校
	弘中 陽介	大蔵小学校
	香川 紫	仁保小学校
	岩崎 脩矢	小鯖小学校
	岩崎 良子	湯田小学校
	右田 閑子	平川小学校
	小松 ゆみ	平川小学校
	五十部 宏幸	陶小学校
	坂本 晴美	興進小学校
	嶽野 和弘	佐山小学校

ピードを出す人を見かけます。黄色になったら停止の体勢へ、赤で完全停車するということ。ただ、信号機は交通安全機ではなく、車の整理機だということを頭にに入れてもらいたい。左右の安全確認が必要」

「スピードの出しすぎや無理な運転をやめてほしい。喫煙運転や、雨の日の自転車の傘さし運転も危ないですね」

「特にお年寄りには、左右の安全確認をする習慣を身に付けてほしい。また、横断歩道を渡らずに道路を横断する人がいますが、危ないので横断歩道を渡っていただきたい。いずれにしても自分の身は自分で守るということですね」と力強く語られました。

金賞



鈴木宏昭さんの作品

銀賞



木京静香さんの作品

銅賞



松野希美さんの作品



中川良子さんの作品

販売・勧誘のトラブル増加 こんな手口にご用心！

●電話機（かたり商法）
大手の電話会社から来たよ

●ふとん（催眠商法・SF商法）
（催眠商法・SF商法）
民家を借りたり、テントなどの特設会場にチラシなどで人を集めたりして、日用品や食品などを無料か格安で配り、甘い言葉で気を引きつけ、最後に高価な羽毛布団などを売る。

※これらの商品は高価なものですから、「いま必要か」しっかり考えて、必要ならキッパリ断りましょう。
※購入するときはその場で決める、時間をかけてよその店

最近、在宅の高齢者を対象とした販売・勧誘のトラブルが増えています。ご近所でもお互いに気を付けましょう。商品と販売方法には、次のようなものがあります。

●磁気マットレス・電気治療機・健康食品（訪問販売）
血行がよくなり、病気が治ったなどいろいろな体験談が載っているチラシを見せて強引に勧める。

〔相談窓口〕

●山口市生活環境課
☎22-41111

●山口県消費生活センター
☎24-0999

●山口県くらしの相談員
村岡光子（江崎）

平成6年度消費生活相談内訳ベスト10 （消費センター受付・山口市分）

1	教養娯楽品	241
2	金融・保健サービス	189
3	住居品	136
4	食料品	115
5	教養・娯楽サービス	88
6	他の相談	86
7	被服品	80
8	工事・建築・加工	76
9	保健衛生品	73
10	レンタルリース・賃借	63

(件)

平成6年度に山口県消費生活センターに寄せられた消費生活に関する相談件数は五千八百四十四件でした。そのうち山口市民からの相談は、千四百八十七件で全体の二九%に上りました。

藤本トモエ（白石）
☎89-4793

溝部栄子（仁保）
☎22-4511

吉富崇子（幸町）
☎23-1457

中野トシ子（吉敷）
☎24-1884

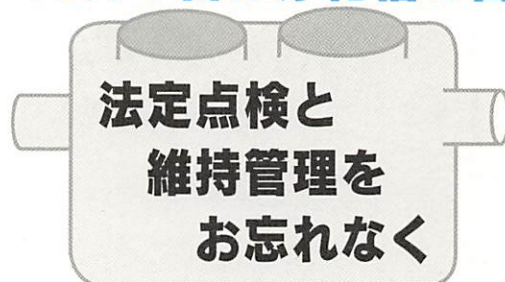
稲盛悦子（香山町）

市生活環境課
☎22-4111

問い合わせ
市生活環境課
☎22-4111

平成6年度に山口県消費生活センターに寄せられた消費生活に関する相談件数は五千八百四十四件でした。そのうち山口市民からの相談は、千四百八十七件で全体の二九%に上りました。

10月1日は浄化槽の日



◎合併処理浄化槽

合併処理浄化槽とは、台所・風呂などの雑排水とトイレからの排水を合わせて処理する浄化槽です。合併処理浄化槽は非常に高性能で、下水道の処理水と同じ程度まで汚れを処理します。

市では、快適な生活と環境の保全に役立つこの合併処理浄化槽の設置に対して補助金を交付し、普及に努めています。設置基数は年々増加し、昨

年度までに千八百八十八基が設置されました。

◎大切な維持管理

優秀な性能を持つ合併処理浄化槽ですが、維持管理が適切にされていないと本来の能力を発揮することができないばかりか、近所の人に迷惑をかけることにもなりかねません。

浄化槽に関心を持ち、プロワーカーが動いているか、処理水がきれいかどうか、時々確認しましょう。

◎保守点検

使用開始の直前に一回、そのあとは定期的に保守点検が必要です。

保守点検は、専門的な知識と技術を持つ知事の登録を受けた浄化槽保守点検業者に委託しましょう。

◎清掃

槽内にたまった汚泥などを除いたり、機器類の洗浄など年一回以上行うことが必要です。清掃は、市の許可を受け

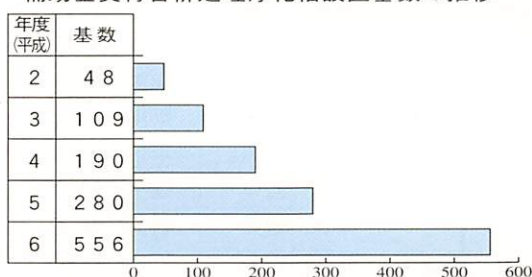
◎法定検査

浄化槽を使い始めて六か月たったら二か月以内に、その後は年一回、水質に関する検査を受けなければなりません。

検査は、知事が指定した検査機関（山口県浄化槽協会）で行っています。

問い合わせ
市生活環境課
☎22-4111

補助金交付合併処理浄化槽設置基数の推移





△クリーンヒット 天皇賜杯全日本軟式野球大会

秋空の下、天皇賜杯第50回記念全日本軟式野球大会が（財）全日本軟式野球連盟とスポーツニッポン新聞社により西京スタジアムで開催されました。高円宮様ご夫妻をお迎えした9月8日の開会式に続き、9日から13日まで選手たちの熱いプレーが繰り広げられました。優勝は、日精工業株式会社（愛知県東）。



▽アユづくしの日 ふしの川漁協まつり

9月10日、樫野川漁業協同組合平川養魚池（平川河川公園）で、樫野川漁協の主催による「ふしの川漁協まつり」が開かれ、時折小雨の降るあいにくの天気にもかかわらず、家族連れなど大勢の人が訪れました。目玉は、5,000匹が用意されたアユのつかみ取り。参加者は、水びたしになりながら、アユと奮闘していました。会場には、このほか、天然焼きアユコーナー、雑炊コーナーなどもあり、親子でアユの塩焼きに舌鼓を打っていました。



▽なるほど下水道 下水道まつり

9月9日、市浄水センターで行われた「下水道まつり」は4,000人の参加者で大にぎわい。設備の展示や浄水センターの探検など、楽しく下水道のことを知りました。特に、浄化の過程でできた汚泥肥料の配布コーナーには長蛇の列。もちまきも大盛況でした。



△元気なアユをめしあがれ

9月13日、市養護老人ホーム「福寿園」へ樫野川漁業協同組合から、アユ150匹が寄贈されました。

同組合の大田参事が、「毎年みなさんのところにアユを持ってくるのを楽しみにしています。また来年も元気なアユを持ってこれるよう、頑張ります。」とあいさつをした後、代表のお年寄りに手渡されました。

寄贈されたアユは、さっそくホーム職員の手によってみそ汁や塩焼きに料理され、この日の昼食に出されました。

ゆとりある住生活 フォーラム

住まいについて、みんなで考える会を開催します。

日時 十月六日（金）午後一時三十分～四時五十分

場所 ニューメディアプラザ山口

内容

・講演会「これからの家族とそのすまい」講師 高森和子（元）女優・エッセイスト
・座談会「いつまでも安心して住める住まい」

生涯学習推進大会

まなぼうやまぐち'95
参加者募集！

十月十四日の「まなぼうやまぐち'95」で行われる次の催し物について参加者を募集します。申し込みは、市教育委員会生涯学習課 22-4111内線3331までどうぞ。

・ウォークラリー
（市内四キロメートル程度）
締め切り 十月十二日
・ニュースポーツ教室
（白石小学校体育館）
締め切り 十月十二日
・「歌うって楽しいね」講演会
（山口市民会館）
締め切り 十月十三日

※九月十五日号でお知らせしました募集の締め切り日を右記のとおり訂正し、お詫びします。

市民講座・パソコン(初心者)

- 日時 10月16日(月)～20日(金)、午後7時～9時
- 場所 山口コンピュータ専門学校(富田原町2-23)
- 内容 表計算の基礎
- 募集人員 30人(応募者多数の場合は抽選)
- 受講料 1,000円(教材費含む)
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、10月9日(月)までに市地域開発課(亀山町2-1 ☎22-4111)へ

手織り教室(初心者)

- 日時 10月20日～平成8年3月15日までの毎月第1・3金曜日、午前10時～正午(全10回)
- 場所 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路12)
- 内容 卓上織機をつかって、藍染・裂き織のテーブルセンター、ウールのマフラーをつくります
- 講師 藤本律子先生
- 募集人員 20人(先着順)
- 材料費 8,000円程度(糸、その他)
- 申し込み 10月2日(月)から山口ふるさと伝承総合センター(☎28-3333)へ

レザークラフト教室(初心者)

- 日時 10月26日～平成8年3月14日までの毎月第2・4木曜日、午前9時30分～正午(全10回)
- 場所 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路12)
- 内容 革工芸の基礎技法を学びながら、造花、おしゃれベルト、セカンドバッグなどをつくります
- 講師 嬉し子先生
- 募集人員 20人(先着順)
- 材料費 8,500円程度(全作品分)
- 申し込み 10月2日(月)から山口ふるさと伝承総合センター(☎28-3333)へ

ニュースポーツ教室

- 日時 10月17日～12月19日の毎週火曜日、午後7時～9時(全10回)
- 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
- 種目 ターゲットバードゴルフ、ラケットテニスなど
- 募集人員 50人(先着順)
- 参加料 3,000円(保険料および実費)
- 申し込み 10月3日(火)から電話または山口南総合センター受付窓口(☎32-8333/小郡72-8333)へ
- ※10月11日(水)午後7時から説明会を開催、この際参加料を徴収

西東鳳凰山縦走ハイキング

- 期日 10月15日(日)(雨天中止)
- 集合時間・場所 午前9時20分・市役所玄関前
- コース 市役所(貸切バス)～吉敷畑～油峠～西鳳凰山山頂(昼食)～油峠～地蔵峠～東鳳凰山山頂～天花畑(無料バス:午後3時30分・4時発)～市役所
- 対象 市民180人(小学生以上)
- 参加料 無料(ただし保険料として50円を当日徴収)
- 持参品 昼食・水筒・タオル・手袋など
- 申し込み 10月12日(木)までに電話で、市教育委員会体育課(☎22-4111)へ

創業・開業支援セミナー

- 日時 10月22日(日)午後1時～4時50分
- 場所 山口県労働者福祉文化中央会館(緑町3-29)
- 内容 創業に関する法など
- 対象 創業を予定している方
- 募集人員 50人
- 受講料 無料
- 問い合わせ 山口商工会議所(中市1-10 ☎25-2300)へ

ワープロ教室

《土曜日コース》

- ★日時 10月14日・21日・28日・11月4日・11日、午後1時30分～4時30分

《火曜日コース》

- ★日時 10月17日・24日・31日・11月7日・14日、午前9時～正午
- 場所 山口市働く婦人の家
- 募集人員 各コース10人(応募者多数の場合は抽選)
- 受講料 2,575円(テキスト代)
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・職業の有無・コース名を記入し、10月6日(金)までに山口市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1 ☎21-1929)へ

子そだてマナビィ(佐山学級)

- 期日・内容
- 10月28日(土)・「今、子どもにしたいこと」
- 11月18日(土)・「自然の語りかけにチャンネルを合わせると」(戸外講習)
- 12月2日(土)・「ミイラと遊ぶ」
- 時間 午後1時30分～3時
- 会場 佐山公民館ほか
- 対象 幼稚園児および小学生をもつ母親など(託児をいたします)
- 募集人員 20人(先着順)
- 受講料 無料
- 申し込み 10月2日～20日の間に佐山公民館(☎89-3525)へ

地方分権の推進に関する標語

- テーマ 地方分権の必要性、意義などを訴えるもので未発表の作品
- 応募方法 はがきまたはファックス、パソコン通信に、標語・住所・氏名・年齢・職業(学校名・学年)・電話番号を記入して、10月20日(金)までに送付
- 問い合わせ 県企画課計画班(☎33-2516)へ

みんなおいでよ
親子ふれあいジャンボリー

- 日時 11月11日(土)午前10時～午後3時
- 場所 山口県スポーツ文化センター
- 内容(参加賞・賞品あり)
- ◆大なわとび大会
- ◆小・中学生部門 1チーム7人
- ◆ファミリー部門(大人2人、中学生以下3人) 1チーム5人
- ◆スポーツウルトラクイズ
- ◆腕ずもう大会
- ◆子どもの写真コンテスト表彰式・展示
- ◆ミニコーナー
- ◆バザー
- 参加申し込み 大なわとび大会については、はがきまたは電話で、出場種目・部門名・チーム名・参加者氏名・年齢・代表者の住所・氏名・電話番号を10月27日(金)までに、市児童家庭課(亀山町2-1 ☎22-4111)へ
- ※スポーツウルトラクイズ、腕ずもう大会は当日参加申し込みを受け付けます
- ※上履きを持参してください

歴史の道を歩いてみませんか
文化財市内探訪・吉敷地区「肥中街道」

- 日時 11月11日(土)午前9時30分～午後3時(雨天中止)
- 集合時間・場所 午前9時20分・吉敷公民館
- コース 吉敷公民館→赤田神社→河内神社(昼食)→大峠(行程はすべて徒歩)
- 講師 内田伸氏(郷土史家)
- 参加費 500円
- 持参品 昼食・お茶
- 申し込み はがきに住所・氏名・電話番号・「文化財市内探訪参加申し込み」と記入して、10月27日(金)までに市教育委員会文化課内「山口の文化財を守る会事務局」(春日町5-11 ☎20-4111)へ
- ※駐車場が少ないので当日はバスなどでお越しください
- ※申し込みをされた方には、特別な場合を除き改めて連絡をしません
- ※解散場所から貸切バスを用意しています(大峠・吉敷・湯田・中電・県庁・八坂神社・日赤前・交通局)

第6回青空まつり

- 日時 10月15日(日)午後10時～午後3時(雨天決行)
- 場所 亀山公園ふれあい広場
- 内容 無料相談コーナー(正午まで)、あそび広場、チャリティーバザーなど
- 協力券(福引券と子ども広場・遊び券) 300円
- 問い合わせ 青空まつり実行委員会(☎23-1719)へ

山口駐屯地創設40周年記念

- 日時 10月15日(日)午前8時30分～午後4時
- 場所 陸上自衛隊山口駐屯地
- 催し物 観閲式・パレード、祝賀飛行、バトンフラワー(三田尻女子高校)演技、野外出店、ジープ・戦車・指揮通信車試乗、音楽演奏など
- 問い合わせ 陸上自衛隊山口駐屯地広報室(☎22-2281)へ

婦人大学講座
「今、女性に問われるもの」

- 日時 10月12日(木)午前10時～正午
- 場所 市民会館小ホール
- 入場料 無料
- 講師 児島かよ子・弁護士
- 問い合わせ 山口市婦人大学講座事務局 河合(☎27-3772)へ

中国「福建省京劇団」山口公演

- 日時 10月15日(日)午後2時から
- 場所 市民会館大ホール
- 演目 「孫悟空 師を救う」など
- 入場料 S席3,200円、A席2,500円、B席2,200円(当日は300円増)
- 問い合わせ 山口映画友の会 児玉(☎33-2340)へ
- ※前売券は市内書店、レコード店、楽器店、県庁売店にあります

事業計画の縦覧

- 市区画整理課で、矢原町土地区画整理事業の事業計画の縦覧を行います。なお、意見のある方は県知事に意見書を提出することができます。
- 縦覧期間 10月9日(月)～23日(月)(土・日・祝日を含む)
 - 場所 市区画整理課
 - 意見書提出期間 10月24日(火)～11月6日(月)
 - 問い合わせ 市区画整理課(☎22-4111)へ

山口南総合センター
「音楽コンサート」

- 日時 11月23日(木)午後3時30分から(午後3時開場)
- 場所 山口南総合センターホール
- 内容 眞理ヨシコの歌とおしゃべりでつづる「ファミリーコンサート」
- 曲目 「エーデルワイス」「あめふりくまのこ」
- 入場料 大人1,800円、子ども1,000円(当日は200円増)
- 問い合わせ 山口南総合センター(☎小郡72-8333)へ

経営事項審査結果
通知書(写)の提出

- 平成7年6月29日から、建設業法第27条の23第1項の改正により、建設工事(公共工事)を請け負う場合は毎年経営事項審査を受け、その審査結果通知書の(写)を提出することが必要となりました。
- 問い合わせ・提出先 市工事検査課(☎22-4111)へ

最低賃金が改正されました

県内で働くすべての人に適用される最低賃金が次のように改正されました。

1日4,674円・1時間585円

★効力発生日 平成7年10月1日

里親を求める運動月間

- 10月1日～31日は里親を求める運動月間です。家庭に恵まれない児童に温かい家庭環境を提供して下さる方をもとめています。
- 問い合わせ 県中央児童相談所(☎22-7511)または市児童家庭課(☎22-4111)へ

第2回山口ヤングフェスタ
・ふるさとYリーグ

- 日時 10月14日(土)・15日(日) 午前9時～午後4時30分
- 場所 阿知須干拓地
- 問い合わせ ふるさとYリーグ実行委員会事務局(☎小郡72-1636)へ

訂正

9月15日号14頁、10月10日の市民スポーツデーの記事で山口南総合センター体育館の開放時間が、午前9時～正午・市民インディアカフェア/午後1時～4時・バトミントン教室となっていたのは、午前9時～正午・バトミントン教室/午後1時～4時・市民インディアカフェアの誤りでした。訂正しておわびします。

募集コーナー

お父さんのための
元気になるゼミナール

- 期間 10月14日(土)～平成8年3月16日(土)の間、月1～2回程度・全8回
- 場所 サンフレッシュ山口・湯田公民館
- 内容 「魅力のある話し方」「センスアップ教室」など
- 募集人員 30人(先着順)
- 受講料 1,000円
- 申し込み 10月8日(日)までに、電話またはサンフレッシュ山口受付窓口(湯田温泉五丁目5-22☎33-0001)へ

来年度入学する
お子さんの健康診断について

来年度小学校に入学する子ども健康診断を行います。

○対象 平成元年4月2日～2年4月1日の間に生まれた子ども、就学義務猶予の許可を受け現在入学していない子ども、日本国籍を持つ

たない子どもで入学児に該当し保護者からの申し出があった子ども

○健康診断の5日前までに通知書が届かない方は、市学校教育課(☎22-4111)へご連絡ください。

編集後記

△十月は、さわがしかった夏の面影もすっかり消え、ひっそりと秋の深まりゆく月です。農村では、黄金色の稲穂が頭を下げ、コンバインの音があちこちに聞かれ、取り入れの農繁期となります。本年も天候に恵まれ豊作が期待されます。

△十月一日は、五年ごとに全国一斉に国勢調査が行われます。この調査によって得られた統計は、行政資料に限らず、地域社会や学術研究、経済界など一般の分野でも幅広く活用されています。皆様のご理解とご協力をお願いしたいものです。

健康コーナー

山口地区
痴呆性老人を支える家族の会

- 日時 10月17日（火）午後1時30分～3時30分
○場所 山口環境保健所（葵二丁目5-69）
○対象 痴呆性老人を介護している方など
○申し込み 山口環境保健所精神保健班（☎22-5111）へ（予約制）

生ポリオワクチンの接種

- 対象 生後3か月から90か月の乳幼児 1回目の人：まだ生ポリオワクチンを受けたことのない乳幼児 2回目の人：今までに1回のみ生ポリオワクチンを受けて、その後受けていない乳幼児
○料金 無料（母子健康手帳と体温計を持参してください）
○問い合わせ 市健康増進課（☎21-2666）へ
※市保健センター会場での接種を希望される方は、事前に必ず市保健センターへ申し込んでください
※聴診等を行うため、1日180人まで受け付けます

期 日	場 所	時 間
10月24日(火)	陶公民館 鋤銭司公民館	13:20～13:50 14:30～14:50
10月25日(水)	二島公民館 南総合センター	13:20～13:50 14:30～15:00
10月26日(木)	佐山公民館 嘉川公民館	13:20～13:50 14:30～15:00
10月27日(金)	吉敷公民館	13:30～14:30
10月31日(火)	市保健センター	13:30～14:30
11月1日(水)	市保健センター	13:30～14:30
11月2日(木)	湯田公民館	13:30～14:30
11月7日(火)	大歳公民館	13:30～14:30
11月8日(水)	平川公民館	13:30～14:30
11月10日(金)	大殿公民館	13:30～14:30
11月14日(火)	大内公民館	13:30～14:30
11月15日(水)	市保健センター	13:30～14:30
11月16日(木)	仁保公民館 小鯖公民館	13:00～13:30 14:30～15:00
11月17日(金)	宮野公民館	13:30～14:30

1歳6か月児健康診査

- 期日・対象地区 10月24日（火）…陶・鋤銭司・名田島・二島・嘉田・佐山 10月26日（木）…湯田・吉敷・大歳・平川 10月27日（金）…大殿・白石・仁保・小鯖・大内・宮野
○受付時間 午後1時～2時
○場所・対象 24日…山口南総合センター 平成6年2月～4月生まれの幼児 26・27日…市保健センター 平成6年4月生まれの幼児
○料金 無料（受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票を持参）
○問い合わせ 市健康増進課（☎21-2666）へ

3歳児健康診査

- 《北部地区》
○期日・対象地区 10月18日（水）…湯田・吉敷・平川・大歳 10月25日（水）…大殿・白石・仁保・小鯖・大内・宮野
○場所 山口環境保健所
○受付時間 午後1時～2時
○対象 平成4年10月生まれの幼児と過去未受診者
《南部地区》
○期日・対象地区 10月13日（金）…陶・鋤銭司・名田島・二島・嘉田・佐山
○場所 山口南総合センター
○受付時間 午後1時～1時45分
○対象 平成4年7月～9月生まれの幼児と過去未受診者
◆料金 無料（受診者は母子健康手帳と事前に送付した健診票を持参）
◆問い合わせ 山口環境保健所（葵二丁目5-69☎22-5111）へ
※当日検尿がありますので、取りにくい方は取ってきてください

パーキンソン病患者家族交流会
（翠陽会）

- 日時 10月11日（水）午前9時30分～正午
○場所 山口環境保健所（葵二丁目5-69）
○対象 パーキンソン病患者およびその家族
○申し込み 山口環境保健所保健指導班（葵二丁目5-69☎22-5111）へ（予約制）

健康教育受講生募集

- 日時 10月19日（木）午後2時～4時
○場所 仁保公民館
○内容 「脳卒中の予防」
○講師 あんの循環器内科 阿武義人院長
○受講料 無料
○申し込み 10月12日（木）までに仁保公民館（☎29-0105）へ

動脈硬化予防教室

- 期日・内容 11月1日（水）「コレステロールと動脈硬化について」済生会山口総合病院・光山哲生医師 11月8日（水）「動脈硬化予防と食事」済生会山口総合病院・岡村協子栄養士
○時間 午後6時30分～8時30分（午後6時から受け付け）
○場所 市保健センター
○対象 基本健康診査の結果コレステロール・中性脂肪が高いといわれた方、または受講希望者
○受講料 無料
○募集人員 50人
○申し込み 10月20日（金）までに市健康増進課（市保健センター/糸米二丁目6-6☎21-2666）へ
※基本健康診査等の結果をお持ちの方は、持参してください

催し物とお知らせ

特設行政相談所を開きます

- 日時 10月12日（木）午前10時～午後3時（以降、毎月第2木曜日開設）
○場所 ちまきや本館正面玄関内
○料金 無料
○問い合わせ 山口行政監察事務所 行政相談課（☎22-1590）へ
※相談に関する個人の秘密は固く守られます

平成8年用家計簿の斡旋

- 価格 「明るい生活の家計簿」300円、「家計夢ノート」600円
○申込期限 10月20日（金）
○申し込み 市生活環境課（☎22-4111）へ

10月の休日当番医	外 科 系	内 科 系	外 科 系	内 科 系
1	内藤クリニック 山口20-5588	カワノ医院 山口22-3464	相川医院 山口86-2177	上郷医院 小郡72-0916
8	奥山整形外科 山口23-0022	赤川医院 山口22-0299	村田外科 小郡72-7100	小橋クリニック 小郡73-5000
10	小田整形外科 山口24-8972	国近内科 山口22-0822	小川整形外科 小郡72-2887	山岸内科 小郡72-2788
15	斉藤外科眼科 山口24-3550	小泉小児科 山口22-0009	同仁病院 宇部65-2130	田辺内科 小郡73-3778
22	鴻城医院 山口22-0166	神徳内科 山口24-3780	三隅外科 小郡72-1003	はまもと児クリニック 小郡73-0616
29	坂本整形外科 山口25-5566	ササキクリニック 山口22-3237	小林外科 小郡73-1515	河端内科 小郡72-3820
				田村内科 山口89-4749
				小野医院 秋穂84-2353
				同仁病院 宇部65-2130
				利重クリニック 山口89-2515
				たむら医院 山口89-4480
				共立病院 宇部65-2200

診療時間：午前8時30分～午後5時30分

診療時間：午前9時～午後6時

■休日夜間急病診療所（糸米二丁目6-6 ☎25-2266）〈内科・小児科〉毎日午後7時～10時 〈外科〉土曜・日曜・祝日、年末年始、8月15日午後7時～10時 〈歯科〉日曜・祝日、年末年始、8月14日～16日午前9時～午後1時 ■休日当番医テレホンサービス ☎23-5000

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日
内科系	林病院 小郡72-0411	同仁病院 宇部65-2130	池田医院 小郡72-1002	田中内科 小郡72-2325
外科系	共立病院 宇部65-2200	林病院 小郡72-0411	相川医院 山口86-2177	同仁病院 宇部65-2130

■市外局番 小郡：0839 宇部：0836 秋穂：0839

■平日夜間の在宅当番医の問い合わせは ☎22-1470（消防本部）へ